

新型コロナウイルス 正しい知識で、正しく防ぐ

Vol.2

☎北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤル ☎0570・093・567

新型コロナウイルスの感染拡大は、一進一退を繰り返しながら、今なお続いており、現在は、若者の感染や家庭内感染が増えています。終息への道のりが見えない現状の中で、わたしたちは新型コロナウイルスとどう向き合い、どう対処すればいいのでしょうか？そもそも、新型コロナウイルスとは？本市の感染対策の現状は？

新型コロナウイルスに関するさまざまな疑問点について、本市における医療・福祉行政のアドバイザーを務める保健福祉局医務監・松本哲朗さんに伺いました。

(7月21日取材)



松本 哲朗さん

専門は感染症全般と泌尿器科医療。産業医科大学病院長や日本化学療法学会理事長など、医療界の要職を歴任後、現職。

Q 新型コロナウイルスの特徴について、あらためて教えてください。

A

ヒトに感染するコロナウイルスは7種類あり、うち4つは一般的な風邪のウイルス、残る3つがSARS(重症急性呼吸器症候群)、MERS(中東呼吸器症候群)、そして今回の新型コロナウイルスです。未知のウイルスであったことは事実ですが、何かの得体の知れない、人類が想像もできなかったような病原体ではありません。そもそも、地球上に存在する何千、何万種類ものウイルスのうち、WHO(世界保健機関)が根絶を宣言したのは天然痘だけであり、新型コロナウイルスも少なくとも自分の間、ゼロになることはないと考えるべきでしょう。だからこそ、正しく恐れて正しく対処することが大切なのです。

Q 医療体制など、本市における感染対策の現状は？

A

市内の協力医療機関と本市医師会が連携し、全区を網羅した医療体制を構築しています。5月後半のいわゆる第二波以降、すべての濃厚接触者を検査対象とするなど感染拡大を防止する対応を行いました。また、ホテルでの宿泊療養にも取り組んでいます。8月からは北九州市役所本庁舎と保健所に医療対策の専門部署を置いて人員を拡充し、感染の拡大に備えています。



Q 感染防止に向けて、日常生活の中でできることは？

A

なんといっても、5つの行動目標を徹底していただくことです。とりわけ、マスクの着用と手洗いが重要です。感染者の唾液中に大量の新型コロナウイルスが生息していることがわかっています。他の人に感染させないために、人と話すときは必ずマスクを着用してください。手洗いについては、せっけんをよく洗うことや手指消毒が大切ですが、水洗だけでも効果的です。



Q 長期化している新型コロナウイルスとの向き合い方は？

A

「コロナとの闘い」には、必ず終わりがきます。いつまでも続くと思えばやりきれませんが、治療薬やワクチンが開発されるまでの辛抱です。今いちばん大切なことは、医療崩壊を未然に防ぐためにも、クラスター(感染者集団)を起さないことです。マスク着用と手洗いを励行し、5つの行動目標をしっかり守ることを心がけましょう。

北九州市5つの行動目標

- 1 外出するときはマスクの着用
- 2 人との距離をしっかりと確保(できれば2メートル)
- 3 小まめに手洗い
- 4 発症した時のために、自分の行動をしっかり記録
- 5 発熱等があるときは、事前に電話をしてから病院に行く

Q 新型コロナウイルス感染症の初期症状は？また「感染したかも…」と思ったときは、どうすればいいでしょうか。

A

発熱や咳、喉の痛み、強いだるさなど、おむね普通の風邪と似ています。味覚や嗅覚の異常など、新型コロナウイルス特有の症状もあります。人によって異なりますが、熱の目安としては、37度を超えたら要注意とも言われています。

新型コロナウイルスは国が定める「指定感染症」ですから、法律に則った行動が求められます。具体的にはまず、北九州市新型コロナウイルス相談ナビダイヤルか、かかりつけの医療機関に電話で相談し、指示に沿った行動をお願いします。



Q 最後に、市民へのメッセージをお願いします。

A

感染防止も大切ですが、社会経済活動も大切です。怖がり過ぎると社会活動を止めることにもなりかねませんし、軽視し過ぎたら感染拡大に歯止めがかかりません。市民の皆さんには、新型コロナウイルスを、正しく恐れて、正しく対処・行動することを心がけていただきたいと思います。また、新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。差別や偏見につながることはないよう、適切な判断・行動をお願いします。

